



未来への確かな道筋

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた初春をお健やかに迎えのことに、心からお慶びを申し上げます。昨年を振り返りますと、基幹産業である農業面におきましては、一時期の天候不順等により農作物において、一部心配されたところではありますが、総じて前年作は確保され、また、ミネラル野菜の順調な生産拡大と市場性の確保、および畜産部門における自然循環型経営と安定的経営拡大に向けた農家個々のご努力は、農業経営の向上と安定化に資するものと、期待をいたしておるところであります。

一方、商工業におきましては、国内景気は穏やかながらも回復に向けた動きがあるとはいえ、地方における業種間の格差は改善されず、依然として厳しさを感じた年でありました。私といたしましても、皆様とともに景気回復を実感できる一年となりますことを、念願する次第であります。

わが町は、昭和30年2月に1町2村が合併し、50年を経て新たな半世紀にむけ、記念すべき年を迎えたわけであります。合併当時は財政的にも大変厳しい時代でありましたが、昭和から平成へと激動と変革の中、時代背景に即した町政運営に取り組みられ、また、郷土を愛する町民の皆様の熱意と将来を託す子供たちへの想いにより、当地方におきまして中核的進展を遂げて参りました。改めて町民の皆様の弛まぬご努力とご支援に御礼を申し上げる次第であります。

さて、今日の地方自治体を取り巻く環境は、地方財政の厳しさに加え、国の構造改革により地方行政の在り方も大きく変わって参りました。また、国と地方の枠組みを大きく変える地方分権下においては、自己決定と自己責任の行政運営が一層求められ、負担と厳しい選択の時代をむかえたものと、認識をいたしております。

地方自治の変革と地域社会が大きく変化する中、行財政改革を推し進め、町が目指して参る町政運営に耐えうる財政基盤の構築は勿論のこと、少子・高齢化社会への対応と地域医療提供体制の再構築など豊かで安心して暮らせる地域社会づくり、快適な生活環境を提供するインフラ整備、更には雇用の確保と定住および地域経済の活性化において、重要な役割を担う既存企業の育成と企業誘致等、多くのまちづくり諸施策に対しましても方針を明確に定め、町民の皆様の参画をいただき、より具体的な取り組みが必要となって参ります。

また、核家族化や高齢者世帯の増加、更には住民ニーズの多様化・高度化などにより、地域社会本来の果たすべき役割と機能も低下傾向にあります。地域に住む方々の心のつながりを大切にしたい豊かで活力ある地域社会はまちづくりの原点でありますので、地域社会の再生に対する取り組みも重要と考えておる次第であります。

議会といたしましても、今後急速に展開する地方分権や時代の変革と要請を的確に捉え、町民の皆様との協働で、安心して住める・住んでよかったと実感できるまちづくりに全力を傾注いたし、町勢伸展の確かな道筋を築いて参る所存であります。どうか本年も議会運営に対しまして、更なるご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

町民の皆様にとりまして、幸多き年でありますことを、心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

小野町議会議長 大和田 昭